

岐阜県教育委員会 様

岐阜県立多治見工業高等学校長

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜県立多治見工業高等学校 学校運営協議会 (第3回)
- 2 開催日時 令和4年2月8日(火) 13:30~15:30
- 3 開催場所 多治見工業高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	加藤 大輔	市青年会議所理事長
副会長	樋口 正和	同窓会役員
委員	加藤 亨	明和工業株式会社管理部長
	稲垣 尚子	Mamas' Cafe
	松村 敦子	養正公民館館長
	日比野衣里	地域代表
	赤坂 栄治	前育友会長
	船戸 敬子	育友会副会長
学校側	有賀 昭人	校長
	曾貝 隆之	教頭
	三宅 克典	事務長
	田口 稔	教務主任
	青山 知喜	生徒指導主事
	小池 勉	進路指導主事
	加藤 龍輔	工業部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校行事について

意見1: 課題研究の取組や文化祭・卒業制作展の開催などよく努力していると感じるが、これらの活動に関係各所に案内することで、生徒の現場での活躍を実際に見ることができるので、積極的に広報できるとよい。

意見2: 新聞などで専攻科(陶磁科学芸術科)の活躍をよく目にするが、専攻科とセラミック科やデザイン科の生徒との交流の場を設けることで、視野を広げることができる

のではないか。

(2) ICTの活用について

意見1：オンライン授業などタブレットを活用した授業は充実してきていると感じるが、タブレットの持ち帰りによる学習活動以外での利用方法については、家庭と共に考えていくことが大切である。

意見2：企業においても、オンライン会議やペーパーレス化は徐々に取り入れられているが、製造業などのものづくりの現場では、すべてをICT化することはできないので、コミュニケーション力を伸ばす指導も大切にしてほしい。

(3) 学校生活について

意見1：教育相談体制の充実など、生徒の悩みや相談に対して的確に対応できており、今後も生徒が安心して相談できる環境を整備してほしい。

(4) 資格取得・進路活動について

意見1：資格取得に対する取組は、非常に高いと感じている。学生時代に資格取得に取り組むことは、社会人となったときにも必ず生かされると思うので、継続した取組をお願いしたい。

意見2：朝学習の取組や基礎力診断テストの結果から、基礎的な学習の取組について充実した活動が行われていると感じる。

(5) スクール・ポリシーについて

・本校のスクール・ポリシーについて承認を得た。

(6) 令和3年度 自己評価・学校関係者評価報告

・今年度の取組、現行の分析、来年度に向けての改善方策案等について承認を得た。

6 会議のまとめ

今年度はICTの有効活用についての研究により、タブレットを利用したオンライン授業やわかりやすい授業を実践することができ高い評価を得たが、対面授業やコミュニケーション力の大切さについての意見が多かった。また、地域に根ざした工業高校として、基礎・基本の定着を図るとともに、コミュニケーション能力を高める指導を強化し、専門的な技術を身につけ実践力のある地域社会人の育成に努めたい。